

【参考】

豊岡みらいチャレンジ塾 2022 講師・トータルコーディネーター紹介

【講師】

	<p>おいかわ み き 及川美紀さん (株式会社ポーラ 代表取締役社長)</p> <p>宮城県石巻市出身。1991年、ポーラ化粧品本舗（現株式会社ポーラ）入社。美容スタッフ・ショップの経営をサポートする埼玉エリアマネージャーを経て、2009年より商品企画部長に。2012年に執行役員（商品企画・宣伝担当）、2014年に取締役就任（商品企画・宣伝・美容研究・デザイン研究担当）。2020年1月より株式会社ポーラ代表取締役社長。</p>
	<p>みうら 三浦まりさん (上智大学 法学部 教授)</p> <p>若手女性対象の政治リーダー養成を手がける一般社団法人パリテ・アカデミー共同代表。カリフォルニア大学バークレー校にて Ph. D. (政治学) 取得。専門はジェンダーと政治、福祉国家論。主著に『私たちの声を議会へ：代表制民主主義の再生』(岩波書店, 2015年)、『日本の女性議員：どうすれば増えるのか』(編著、朝日選書、2016年)、『ジェンダー・クオータ：世界の女性議員はなぜ増えたか』(共編著、明石書店, 2014年) など。朝日新聞論壇委員。千代田区男女平等推進区民会議会長。2018年に世界政治学会で最優秀論文賞（ジェンダーと政治部門）を受賞、2021年にフランス共和国より国家功労賞シュバリエを受章。</p>
	<p>こ ぎ そ ま り 小木曾麻里さん (SDG インパクトジャパン代表取締役)</p> <p>世界銀行にてインフラ、資本市場担当を経て、MIGA 東京事務所長。その後ダルバーグ日本代表、笹川平和財団営業企画部長、ジェンダーイノベーション部部長。ファーストリティリングではダイバーシティのグローバルヘッド、人権事務局長、サステナビリティ広報部長を務め、2021年に SDG インパクトジャパンを設立、ESG 投資の推進及びインパクトファンドの設立運営に携わる。東京大学経済学部卒、タフツ大学フレッチャー校修士（環境、金融）。国際協力機構海外投融資リスクアドバイザー、SMBC 日興證券 CIO ESG アドバイザリーボード、明治ホールディングス ESG アドバイザリーボード、W20 日本デレゲートなどを務める。</p>

	<p>わかみやま さこ 若宮正子さん (デジタルクリエイター・IT エバンジェリスト)</p> <p>高校卒業後、三菱銀行（現・三菱 UFJ 銀行）に定年まで勤務。58歳からパソコンを独学で習得。2017年にゲームアプリ「hinadan」を開発。これにより米国アップル社CEOよりWWDCに特別招待された。2017年より数々の政府主催会議の構成員を勤める。2018年国連社会開発委員会のイベントで講演。2020年国連人口基金のイベントで講演。2021年台湾政府デジタル担当の政務委員（IT担当大臣）。オードリーダンとのトークショーを行った。現在は、NPOブロードバンドスクール協会理事、メロウ俱楽部副会長、熱中小学校教諭（一般社団法人熱中学園）、公益社団法人NEXT VISION理事、岸田首相主催・デジタル田園都市国家構想実現会議構成員、デジタル庁デジタル社会構想会議構成員、総務省デジタル活用支援アドバイザリーボード構成員を務める。著書に「老いてこそデジタルを。」他。エクセルアートの創始者。</p>
	<p>おおしま や すこ 大嶋寧子さん (リクルートワークス研究所 主任研究員)</p> <p>東京大学大学院修了後、民間シンクタンク、外務省を経て現職。研究領域は育児や介護をしながら働く人のキャリア支援・活躍を促すマネジメント、リスキリング等。リクルートワークス研究所「ブランクからのキャリア再開発」プロジェクトプロジェクトリーダー、同「中小企業のリスキリング～デジタル時代のスキル再開発～」プロジェクトリーダー。著書に日本経済新聞出版社『不安家族～働く時代のスキル再開発～』（単著）、有斐閣『30代の働く地図』（共著）など。</p>

【トータルコーディネーター】

	<p>こやすみわ 小安美和さん (株式会社 Will Lab 代表取締役)</p> <p>大学卒業後、1995年日本経済新聞社入社。2005年リクルート入社、13年リクルートジョブズ執行役員等を経て16年退社。スイスIMD「女性の戦略的リーダーシッププログラム」修了。17年3月、女性のエンパワーメントをテーマに株式会社Will Labを設立し、全国各地で、女性の就労支援や女性リーダー育成に取り組む。2019年より内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員。2022年よりW20日本共同代表。</p>
---	--

〔問合せ〕 豊岡市総務部ジェンダーギャップ対策室 Tel0796-21-9004